



～ 世界の子供たちに学ぶ機会を！ 学ぶ喜びを！ ～

No.6

認定NPO法人LSスコラ育英基金

〒156-0055東京都世田谷区船橋1-25-15

☎&Fax : 03-3428-8307

E-mail : scola_japan@yahoo.co.jp 、 HP : <http://scola.web.fc2.com/index.html/>

郵便振替番号 : 00100-0-767496 特定非営利活動法人LSスコラ育英基金

＜令和の新たな年を迎え、「LSスコラ育英基金」の持続的発展に向けて＞

昨年、法人設立10周年の節目の年を迎えたNPO法人「LSスコラ育英基金」について、各方面から祝意や労いとともに貴重なご意見を幾つかいただきました。令和の新たな年2020年を迎え、見直すべきところは見直しながら、持続的に発展させていく機会をいただいたものとして前向きにとらえ、今年の活動に繋げていきたいと考えております。なお、2016年12月には、認定NPO法人として認証され、寄付者への税の優遇措置が講じられるようになりましたが、その認定有効期間が2021年12月25日で終了することから、特に今年は、更新のための準備期間として位置付けられることにも留意して進めていく必要があります。

振り返れば、LSスコラ育英基金の活動は、21世紀に入ったのをきっかけに、同窓会活動の活性化に向けた見直しの一環として、当時の東京同窓会会長直轄のプロジェクトとしてスタートし、以後多くの同窓生の貴重な努力の積み重ねの上に継続して参りました。そして、2009年には基金運用を始めとする運営の透明化を図るべく、特定非営利活動法人（NPO法人）としての登録認証を獲得し、法人資格を得て来ました。その結果、法的には同窓会組織そのものからは独立した形になりましたが、その活動理念のキーワードとしては、ぶれることなく「聖ラ・サールの精神」（「学びたくても学べない子供等を救おう」等）と「教育」を掲げ続けて活動してきました。いわば、組織論的には、宗教法人ラ・サール会とそこから独立した学校法人ラ・サール学園との関係に”類似”したものがあり、理解の一助にしていいただければと思います。その結果、寄付金の中には、LSスコラの普遍的な活動理念に賛同した、同窓会とは無縁の方々からの寄付金もあり、有難く受けております。これは、NPO法人の一般的な設立要件に「不特定多数の人向けの活動」という要件があることにも留意していることにつながります。

NPO法人と同窓会の関係について、多様な意見があることは承知しておりますが、両者の法的な一線は見極めつつも、その設立趣旨を鑑みて、皆様方には、LSスコラ育英基金活動に対し、今後とも変わらぬご理解とご支援をお願い致します。また、LSスコラ育英基金の運営にボランティア的活動を続けられている方々に深く感謝致します。

<2019年活動報告>

1. 2019年は、恵まれない青少年に対する、教育・職業訓練を受けられる施設、設備、備品などの整備事業として、「コンゴ共和国のツンバ・クンダ校の若い女性が自立するための人材育成事業」（2月 10,000ドル/112万円）と、恵まれない留学生に対する支援事業並びに国際交流事業等への資金支援事業として、「ふじのくに留学生ツアー」（2月 10万円）—以上既報—に支援を行ったほか、11月には、恵まれない青少年に対する、教育・職業訓練を受けられる施設、設備、備品などの整備事業として、「インド共和国のアンドラ・プラデーシュ州にあるジョセフ・トゥンマ・ジュニア・カレッジ（BJT）」プロジェクト向けに9,880ドル/109万円の支援を行いました。



BJTは、農村部の貧しい学生に質の高い教育を提供する目的で、1993年にラ・サール会によって設立されたカレッジです。本プロジェクトはカースト制度の外側にあつて、インドのヒンズー教社会で昔から差別されてきたダリット

（「困窮した者」「抑圧された者」の意味で、不可触民と呼ばれています）の学生に対し、キャンパスに新しいコンピューターラボを配線して最新の資料を提供することによって、サービスが不十分で経済的に不利な学生が新しいテクノロジーにアクセスできるようにするとともに、テクノロジーおよび科学分野での雇用機会に備えるようにするためのものです。



アーンドラ・プラデーシュ州

2. 当NPO法人の出身母体であるラ・サール同窓会の第7回世界大会が、11月アメリカミネソタ州のミネアポリスで開催されました。この中で、ロバート・シーラー ラ・サール会総長は、世界同窓会の組織が持つ3つの目的

- ① 教育の自由を守り推進すること
- ② カトリック教会が福音の価値に従って支障なく、その使命と目的を成し遂げることができるように、協力しサポートすること
- ③ 一人でも多くの若い人たちが教育を受けることができるように働くこと

を通じ、各国の同窓会組織が力をあわせて努めていくことを強く呼びかけています。昔、仙台ラ・サール・ホーム（児童養護施設）の子供からもらった手作りのクリスマスカードや、マダガスカル为学校建設のお礼メールにあった「この学校は日本のラ・サール同窓生の支援で建設された」と書かれた「碑」のことを思い出し、今後も引続き皆さんとともに支援活動に邁進して行きたいと思いました。

<碑の内容>

DON DE “THE SCHOLARSHIP FUND
OF LASALLIAN ALMNI OF JAPAN”
INAUGURE CE 04 MAI 2014
PAR SE Mgr Desire TSARAHAZANA
PRESIDENT DE LA CEM

3. 2019年度に予定・検討していた事業のうち、事業がなくなったものや実施時期が2020年度以降にずれこんだものもありますが、仙台ラ・サール・ホームの大学進学希望者への育英資金の交付については、現在、事務局で奨学金給付規程の制定を検討中です。

(理事・事務局長 黒木秀敏)

<ローマから届いたクリスマスのご挨拶とお礼>

Merry Christmas!

From the Fondazione De La Salle Solidarietà Internazionale Team



To all the people "of good will" that during this year supported us to ensure quality education and a brighter future to thousands of children and youth throughout the world

Thank you!



事務局からのお知らせ

- ・当基金で昨年1年間にお預かりした寄付金の総額は、159名で288万円でした。寄付者の皆様に心から御礼申し上げます。なお、寄付金控除などの税優遇措置を受けるためには、原則当基金が発行する受領証明書（領収書）を添付して確定申告していただく必要があります。
- ・2019年1月1日～12月31日の寄付金については、受領証明書を1月下旬ごろに郵送しています。証明書はご寄付の際にお知らせいただいたお名前宛に発行しますが、受領証明書に疑義がある場合、住所変更が発生した場合、今後の寄付額に増減希望のある場合などは、事務局まで電話、Fax、Eメールにてご連絡ください。

(理事・事務局 宇野哲人)

SCOLA第6号をお届けします。感想、ご意見、ご希望などお寄せいただければ幸いです。

編集・印刷：事務局 紺野晃則 E-mail : scola_japan@yahoo.co.jp